

日本宇宙少年団 (Young Astronauts Club-Japan 通称: YAC)

次世代を切り拓く「宇宙時代の地球人」を目指し、科学工作、実験、自然観測、天体観察、野外活動、社会貢献活動などを行っています。全国で約140分団、鹿児島県では8つの分団が活動しています。

ここでは、県内のYAC分団の活動を一部紹介します。



③うちのうら銀河分団 (肝付町)

◆主な活動場所: 肝付町銀河アリーナ ★毎月1回活動
◆主な活動: モデルロケット製作・打上げ、イプシロンロケット打上げ見学、ロケットのプログラミング

「ドリームアートロケットプロジェクト」に参加
「夢」をテーマに描いた絵が、ひまわり9号を載せたロケットの機体に「宇宙兄弟」の小山宙哉先生が描きおろしたモザイクアートとなっており、宇宙へ打ち上げられました。



⑥おおすみ分団 (鹿屋市)

◆主な活動場所: 鹿屋市(リナシティか)のや ★毎月1回活動
◆主な活動: スペースサイエンス宇宙教室、望遠鏡教室、天体観望会

スペースサイエンス宇宙実験工作教室
JAXA 公募講師による宇宙クイズに答えたり、星座早見盤を作って星の探し方を学びました。



⑦入来VERA分団 (薩摩川内市)

◆主な活動場所: 薩摩川内市内 ★毎月2回活動
◆主な活動: 理科実験教室、イベント参加(八重山高原望遠鏡/ せんだい宇宙館こどもの日フェスタ)

実験で学ぶ理科教室
月2回の理科実験教室で、物理や化学、地学などを基礎から学んでいます。



①鹿児島分団 (鹿児島市)

◆主な活動場所: 鹿児島市内 ★毎月1回活動
◆主な活動: 自然観察、工作、キャンプ

「ロケットはどうして飛ぶのか?」

ロケットの模型を作り、飛行機、ジェット機、ロケットの飛行原理を学習。推進力について学びました。



②サンシャインテクノ分団 (霧島市)

◆主な活動場所: 鹿児島県内 ★毎月第3日曜日活動
◆主な活動: 社会人リーダーが考える各年3回の勉強会とマイクロバスでの歴史探訪など

社会人リーダーによる勉強会
～スライム作りとジャイロを飛ばそう～
ペットボトルを使ってジャイロを作り原理を学びました。身近な材料で遊ぶものが作れることを学び、実際に色をつけてみんなで遊びました。



④加世田カノーパス分団 (南さつま市)

◆主な活動場所: 南さつま市 ★毎月1回程度活動
◆主な活動: 望遠鏡観察会、水ロケット製作、施設見学など

「こうのとりの6号」打上げ見学

種子島でH-IIロケットによる「こうのとりの6号」打上げ見学を行いました。



⑥伊佐フォーマルハウト分団 (伊佐市)

◆主な活動場所: 伊佐市 ★毎月1回程度活動
◆主な活動: 天体観望、科学実験

秋のお月見会

南来小学校と合同でお月見会を開催。あいにくの天気でしたが、時折雲の間からお月様が顔を出し、望遠鏡越しにクレーターがはっきり見えた時は、子どもたちから歓声が上がりました。



⑧南種子町宇宙科学分団 (南種子町)

◆主な活動場所: 南種子町中央公民館 ★毎月1回活動
◆主な活動: 宇宙のまちキャンプ、おもしろ科学実験等

宇宙のまちキャンプ2016～宇宙のまち南種子町と星入体験～

団員と全県から集まった参加者による7日間のキャンプを実施。星夕暮づくり体験、種子島宇宙センターなど史跡めぐり、稲刈り体験などを行いました。特に、往復19km、10時間30分を歩く隅文杉登山は、子ども達の大きな自信となりました。



ロケット打上げ施設

種子島宇宙センターと内之浦宇宙空間観測所では、打上げ関連施設や展示施設などを見学できるほか、一般公開などのイベントも行っていきます。詳しくは、それぞれの施設にお問い合わせください。

- 種子島宇宙センター (南種子町) ～世界で一番美しい射場～
我が国の基幹ロケットであるH-IIAロケットやH-IIBロケットの打上げが行われています。宇宙科学技術館見学や施設案内/スツアール、年に1回施設特別公開などを実施しています。
TEL:0997-26-9244 (宇宙科学技術館)
URL: http://www.jaxa.jp/about/centers/tncs/index_j.html
- 内之浦宇宙空間観測所 (肝付町) ～イプシロンロケット打上げの地～
固体燃料ロケット「イプシロンロケット」や観測ロケットの打上げが行われています。宇宙科学資料館見学や毎年11月に施設特別公開などを実施しています。
TEL:050-3362-3111 (代表)
URL: http://www.jaxa.jp/about/centers/usc/index_j.html

YAC団員募集中! ～宇宙を体験しよう!!～

年齢・性別問わず、宇宙に興味・関心のある方はどなたでもYAC団員になれます! みなさんと一緒に活動してみませんか。体験入団も大歓迎です!! 興味がある方は下記までご連絡ください。

YAC鹿児島地方本部 (事務局: 南地域政策課 TEL:099-286-2424)
YACホームページ <http://www.yac-j.or.jp/>

編集・発行: 鹿児島県、鹿児島県宇宙開発促進協議会、日本宇宙少年団(YAC)鹿児島地方本部

問い合わせ: 鹿児島県企画部地域政策課
〒990-8577 鹿児島県鹿児島市瑞穂町10番1号
TEL:099-286-2424 FAX:099-286-5529
E-mail: tokutei-k@pref.kagoshima.lg.jp



スペースニュース かごしま Vol.36 (2017.3発行)

SPACE NEWS KAGOSHIMA



写真: 左からH-IIAロケット31号機、H-IIBロケット6号機、イプシロンロケット2号機の打上げ

種子島、内之浦から宇宙へ!

平成28年度は6機のロケット打上げが行われました



鹿児島県には、日本で唯一、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の2つのロケット打上げ施設があり、気象衛星「ひまわり」などの人工衛星や国際宇宙ステーションへ物資を届ける補給船「こうのとりの6号」を宇宙へ運ぶためのロケットや、科学実験用の観測ロケットの打上げが行われています。
平成28年度は、南種子町にある種子島宇宙センターから4機、肝付町にある内之浦宇宙空間観測所から2機のロケットが打ち上げられました。

写真: 左SS-520 4号機、右上H-IIAロケット32号機、右下H-IIAロケット33号機の打上げ

南種子町と肝付町が管理するロケット打上げ見学場には、多くの見学者が訪れます。

宇宙基本計画によると、平成29年度も、種子島宇宙センターからH-IIA、H-IIBロケットが、内之浦宇宙空間観測所からイプシロンロケットの打上げが予定されていますので、ぜひ見学場で、光、音、振動など迫力あるロケット打上げを体験してください。



南種子町 恵美の江展望公園



肝付町 宮原ロケット見学場

第13回種子島ロケットコンテスト大会

平成29年3月2日から3月4日までの3日間、南種子町で「第13回種子島ロケットコンテスト大会」が開催されました。(主催:種子島ロケットコンテスト大会実行委員会)

手作りのモデルロケットを打ち上げて滞空時間や高度などを競う「ロケット部門」と、上空から投下した衛星機能モデル(CanSat)が目的地まで自走する精度を競う「CanSat部門」に、北海道から鹿児島まで全国から集まった高校、高等専門学校、大学の学生や社会人の合計59チーム過去最多の252人が参加。それぞれ自作したモデルロケットやCanSatを使って各種目の競技や技術発表(プレゼン)を行い、開発技術を競いました。

競技終了後に協賛企業も参加して行われる表彰式・技術者交流会や、大会最終日のワークショップでは、企業の担当者や他校のチームと積極的に意見交換し交流を深める様子が見られました。

審査の結果、全種目共通して最もレベルの高い成績を残したチームに贈られるロケットコンテスト大賞は、CanSat部門に出場し、CanSatを目的地にびたりと到達させた鹿児島高専の「Canじゃっど!」チームが受賞しました。

第13回種子島ロケットコンテスト競技結果(部門賞優勝チーム)一覧

部門	種目	結果	所属	チーム名
ロケット	滞空・定点回収	優勝	岐阜工業高等専門学校	Sera
	ペイロード有翼滞空	優勝	鹿児島大学	SATSUMA紅はるか
	高度	優勝	愛知工業大学	なちゅポテAIT
	フライバックタイムアタック	優勝	九州大学	GAKAXY-Q
CanSat	CanSat-comebackコンペ	優勝	鹿児島工業高等専門学校	Canじゃっど!



競技会場はJAXA種子島宇宙センター竹崎芝生広場



CanSat部門は、50m上空の気球から放出された衛星機能モデルが、着地後、自力で走行しどれだけ目標地点に近づけるかを競います



模型ロケット製作教室

種子島ロケットコンテストの最終日には、種子島の小中学生を対象に「模型ロケット製作教室」を開催。九州大学大学院の麻生教授の指導の下、参加した36人全員が、火薬エンジンを使った模型ロケットの打上げに成功。楽しくロケットについて学びました。



第2回かごしまスペースフェスタを開催

平成28年10月16日(日)、第2回かごしまスペースフェスタを鹿児島市のかごしま県民交流センターで開催。宇宙飛行士講演会、JAXAタウンミーティング、小中学生向けフリートーク、水ロケット製作教室や宇宙服試着体験などを実施し、子どもから大人まで約5000の方に御来場いただきました。

JAXA宇宙飛行士の星出 彰彦さんに「夢の実現」と題して御講演いただいた講演会では、宇宙飛行士の訓練や宇宙でのミッション、国際宇宙ステーションでの生活の様子など、宇宙飛行士になる夢を実現させた星出さんの貴重な体験談を聞くことができ、また子どもたちの素朴な質問もあって質疑応答も大変盛り上がりしました。



星出さんは、宇宙飛行士の試験には3回挑戦して合格したと話し、子どもたちへ「これから勉強、部活、恋愛など壁にぶつかったとき、そこでやめないうで、諦めずにもう一歩踏み出して頑張ってください」とエールが送られました。

JAXAタウンミーティングin鹿児島 “かごしままで宇宙をかたっど!”



高校生以上を対象に、JAXA職員と宇宙開発について意見交換を行うJAXAタウンミーティングを実施。人工衛星の防災や産業への活用をテーマに、会場からたくさんの方の意見、質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

小中学生向けフリートーク



タウンミーティングの後は小中学生とJAXA職員とのフリートークを実施。子どもたちは宇宙クイズに答えたり、積極的に質問をして充実した時間を過ごしていました。

Space Science Town Meeting 2017

平成29年3月19日(日)、肝付町での民間宇宙開発の可能性を探る産官学連携イベントが開催されました。「宇宙による地域の活性化」をテーマにした国立天文台チリ観測所の阪本教授による基調講演の後、ハイブリッドロケットの開発に取り組む鹿児島大学大学院の片野田教授、超小型衛星の開発を行う株式会社アクセルスペースの中村代表取締役も加わりパネルディスカッションが行われ、町内外から訪れた参加者も一緒に、肝付町における民間宇宙開発の可能性について語り合いました。



大西卓哉宇宙飛行士ミッション報告会 in 鹿児島県肝付町

平成29年3月25日(土)、肝付町の内之浦銀河アリーナで、平成28年7月から10月まで約4か月間国際宇宙ステーションに滞在したJAXA宇宙飛行士 大西卓哉さんによる任務の報告会が行われました。老化現象を解明するため「きぼう」日本実験棟で行ったマウスの飼育実験や、ロボットアームを操作してシグナス補給船をキャッチしたことなどの説明があり、子ども達の質問にも丁寧に答えられました。



写真提供:肝付町